

5 地域社会のために

地域のさらなる発展に貢献できるように、 地域の人々との交流を深めています

わたしたちは、全国各地の事業所を通じて、地域社会に根ざした活動を行っています。スポーツを通じた支援、認知症の方とご家族へのサポート活動、大学生のインターンシップの受け入れなどをご紹介します。

「スフィーダ世田谷FC」のオフィシャル パートナーとして地域活動を進めています

東邦ホールディングスの母体である東邦薬品(株)は、1948年に東京都世田谷区で創業しました。以来、この地に本社を置き、世田谷区内でさまざまな地域活動に積極的に取り組んできました。

2012年12月には、東邦薬品(株)の社員たちが世田谷をホームタウンとする女子サッカークラブ「スフィーダ世田谷FC」の選手や監督、代表とともに、世田谷区の北沢川緑道の清掃活動を行いました(現在も継続)。これを契機に、東邦ホールディングスは2013年から「スフィーダ世田谷FC」のオフィシャルパートナーとして支援をスタートしました。「スフィーダ世田谷FC」は2001年4月に「サッカーに対し熱く純粋な想いを持った女性へ最適な環境を提供すること」を目的として設立され、スポーツ活動を通じて地域社会へ参加し、良好なコミュニティを築くことをめざしています。2015年度にはチャレンジリーグからなでしこリーグ2部に昇格しました。わたしたちは、「スフィーダ世田谷FC」がリーグ戦で獲得した勝ち点に応じて難民支援機関の「国連UNHCR協会」へ寄付しています。

これからも「スフィーダ世田谷FC」とともに、地域振興に貢献していきます。



スフィーダ世田谷FCの選手たち

募金型飲料自販機を通して 寄付を行っています

東邦ホールディングスは、1996年からNPO法人「ジャパン・カインドネス協会」が運営する募金型飲料自販機を導入しています。募金型自販機で飲料を買くと、購入金額のなかから1円と飲料メーカーから1円の合計2円が社会福祉団体などに寄付される仕組みです。自販機のボタンを指で押すことから、「ゆび募金」とも呼ばれています。

また、東邦ホールディングスの自販機総数は、2016年3月末時点で228台ですが、そのうちの133台が災害時にはお金を入れずに使用できる災害対応自販機です。



募金型飲料自販機とエコキャップ回収ボックス

「認知症サポーター養成講座」を開催し 認知症の方々の支援をしています

東邦ホールディングスは、2009年度から厚生労働省の「認知症サポーターキャラバン」に参加しています。

認知症サポーターキャラバンは全国キャラバン・メイト連絡協議会が運営し、自治体や企業などと協同で認知症サポーター養成講座の講師「キャラバン・メイト」を育成しています。認知症サポーター養成講座を受講すると「認知症サポーター」として認定されます。2016年12月末現在、認知症サポーターは全国で約850万人を数え(認知症サポーターキャラバンウェブサイト (<http://www.caravanmate.com/>より)、東邦ホールディングス全体では2016年3月末時点でのべ3,198人が講座を受講し、認知症サポーターとして認定されました。

正しい知識に基づいて認知症の方をサポートしています

認知症サポーター養成講座で身につけた知識に基づいて、医薬品卸売事業部門の社員は各医療機関へ最適な医薬品を提案し、調剤薬局の社員は来局される患者さまとご家族へ適切に対応しています。また、職場を離れたときもひとりひとりが地域住民の一員として、認知症の方およびそのご家族と積極的に接していくことを心がけています。

これからも認知症サポーターを増やし、認知症の方やそのご家族が暮らしやすい町づくりの一助となれるように活動を続けていきます。



(左) 新入社員研修で実施した認知症サポーター養成講座。(右) 講座を受けると配布されるリストバンド

エコキャップ回収活動に参加し、その輪を広げています

東邦ホールディングスは、グループ会社、事業所、部署ごとにエコキャップ回収活動に取り組んでいます。

2015年度は、東邦ホールディングス(株)と東邦薬品(株)の本社、物流センター、営業所などからペットボトルのキャップを1万4,172個回収し、特定非営利活動法人「キャップの貯金箱推進ネットワーク」に提供しました。キャップは再資源化され、その売上が発展途上国の子どもたちへのワクチン購入費として活用されます(約16人分のワクチン購入費に相当)。

さらに、上記以外のグループ内の事業所から回収された1万6,855個のキャップが、小学校などの各種団体へ寄付されました。

演劇イベントへの協賛を通して 高校生の文化活動を支援しています

東邦ホールディングスは、世田谷パブリックシアターが実施する舞台芸術普及プログラム「未来の舞台人を創る」に協賛しています。2015年度の「未来の舞台人を創る」のプログラムには、19校の高校から110名の生徒を割引料金で招待しました。

大学生へインターンシップの場を提供しています

東邦ホールディングスは、大学からの推薦を受けた学生に対して医薬品卸売事業部門と調剤薬局部門でインターンシップを実施しています。

医薬品卸売事業部門では文系・理系の学生と薬学部の学生を受け入れています。学生たちは、本社での講義や「TBC東京」の見学、営業所での研修を通して医薬品流通の仕組みや医療業界の職種について学びます。2015年度は文系・理系の学生18名、薬学部の学生14名が参加しました。

調剤薬局部門では薬学部の学生を受け入れています。学生たちは医療業界の現状や薬剤師の業務を理解するために、講義を受けたり、「ENIFvoice SP (エニフボイス エスピー)」などの「顧客支援システム」を体験したり、調剤薬局主催の「健康まつり」に運営スタッフの一員として参加したりします。2015年度は16名の学生が参加しました。



(左) ショールームにて顧客支援システムを学ぶ。(右) 「TBC東京」で物流を学ぶ

インターンシップに参加した大学生の人数

部門	対象の学生	2013年度	2014年度	2015年度
医薬品卸売事業部門	文系・理系(人)	17	18	18
	薬学部(人)	9	13	14
調剤薬局部門	薬学部(人)	14	18	16

チャリティープロジェクトに協賛して 障がい者の就労などに協力しています

2015年10月に「世田谷アートタウン」が開催されました。わたしたちはこのイベントの「フラッグリサイクルプロジェクト」に協賛しています。毎年、期間中に世田谷区の街灯路に社名などを記したフラッグ(旗)が掲げられます。フェスティバル実行委員会は前年度に使用したフラッグを、障がい者の皆さまの就労につながるように、世田谷区の福祉作業所に委託して、エコバッグやトートバッグ、文房具入れなどにリサイクルしています。リサイクルされた製品は、フェスティバルのバザーで販売し、収益金は「東日本大震災復興支援金」へ寄贈されました。